

↳UR都市再生機構の「れから」学校適正配置

後期基本計画や地方創生に位置づけされた八千代市の主要な団地は商店街が移転や閉店に追い込まれ買い物難民問題、福祉や子育てにも問題が発生しております。短期的には買い物バスの補助や商店街の家賃の値下げ、または行政からの補助金などの政策を実施する手法もありますが根本的な問題は団地に住まう方々の平均年齢が上がっていることから解決していくべきなのではないかと考えます。子育て世代や若者の流入を促すような取り組みを推進していかねればなりません。

以上の事を踏まえUR北九州支店への行政視察に会派市民クラブとして調査に行っていました。北九州の城野団地では改修工事の際に民間行政・UR都市再生機構の協同開発を行いました。リンベーション。間取りと内装工事だけでも見事に今風の素晴らしい部屋が完成しました。行政としては広報や地域住民の声を調査しURが空き部屋の改修費用を負担しURと民間業者で自由な発想のもと、若者世代の流入を促す様々なアイデアが出され実践されてきました。また入居された若者世代の方々には積極的に自治会活動に参加して頂く事も約束して頂き活性化の一助となしてENLIGHTENです。

本市の主要な団地の中でも村上団地は外国からの入居者が多く、言語や文化の違いからもコミュニケーションが取り辛いなど別の問題も抱えている事をお伺いして参りました。このような状況を踏まえ、多文化の共生と多世代の共住について訴えさせて頂きました。

地方創生の観点からでもピンチをチャンスに変えた発想が必要です。子ども頃から様々な国の文化に触れる事が出来るのは八千代市の新たな魅力にもつながるものと考えます。また年齢層が高くなった地域に若者を呼び込む手法も地域の特性を考えながら早急に対応していかなければなりません。これから更に増えていく市民の要望に行政サービスだけでは対応していくのは難しい時代になっていくのでは。何もしない

でこの街を憂えている時間はありません。ただ要望だけしていく市民ではなく志をもち活動していく八千代志民として皆様と一緒に子供も大人も笑顔あふれる街づくりを努めてまいります。

また団地に限らず少子化による小学校の生徒数の減少が市内各地域で問題となっております。中でも阿蘇米本地域では一学年ークラスで20名を割ってしまうような状況です。少人数教育が出来て目が行き届く「伝統ある小学校の廃校は納得がいかない」という声がある一方、夫婦共働きでPTAの役員が負担になる「役員を回避できたとしても精神的に負担」「子どもが認められてしまった場合、6年間その境遇から逃げ出せない」「もっと多くの友達と出逢い刺激され合った方が良い」など様々な声を伺っています。ですが概ね統合に賛成という意見が多いようです。

本来、学校という場所は子どもたちが集団の中で多様な意見や考え方に触れ、お互いに学び合い、助け合い、時には切磋琢磨しながら互いに成長する場であってはならないものであると考えます。

阿蘇小学校は140年の歴史や伝統もあり地域住民に親しまれておりますが重要なのは未来を担う子どもにとってどちらが望ましいのか？これに尽きるのではないのでしょうか？阿蘇小学校の伝統を守るのにも小学校でなければいけないという訳ではないと思います。鋸南町の小学校は道の駅として先日オーブンされました。阿蘇小学校を新しい地域コミュニティの拠点として地域住民に活用して頂く事も一つの案だと思えますし、手狭になった特別支援学校の移転なども新たな箱モノをつくるのではなく、今ある資産を有効に活用されるように今議会でも要望させて頂きました。

追伸

今定例会の質問に際し取材に協力して頂いた皆様に改めて御礼申し上げます。また出来る限り多くの声を八千代市政に届けたいのでお身体ごきびやります。寒いのでお身体ごきびやります。



平成 27 年度 12 月議会

～団地再生のこれからと
学校適正配置について～

みんなの一步が八千代を変える

2015年 Vol.4 {討議資料}

おざわこうじと八千代の明日を語る会 発行

活動報告



11月に千葉県無形民俗文化財にも指定されている下総三山の七年祭が開催されました。この度、生まれて初めて大和田時平神社にて設営から参加させて頂きました。

一年前から山車の組み立てのリハーサルや道路の使用許可、警察署とルートの確認やタイムスケジュールの申請、国道の使用許可や看板の設置など準備する事は本当に多岐にわたります。

氏子さんを初めとする地域の方々の協力で500年以上に渡り継承されてきた祭りに携わることが出来て言葉では言い表せないほどの感動と伝統を守っていくことの難しさと大切さを実感しました。

HP <http://ozawa-koji.jp/>

FB <https://www.facebook.com/koji.ozawa.75>

お問合せ先 090-7198-4472

追伸 公職選挙法により年賀状などで御挨拶は出来ませんが寒さも厳しくなりましたのでお身体にはご自愛ください。

活動報告



10月開催のど〜んと祭りにて、大声コンテストで司会をやらせて頂きました。着ぐるみはベイマックスでは無く「米最高!」です。来年も開催するので皆様ボイストレーニングを!

会派市民クラブの視察で吉田松陰先生の地元、萩市の明倫小学校の旧校舎の利活用と松陰先生のことばを朗唱するなどの道徳教育を行っている明倫小学校の授業について視察に行ってきました。右の写真は大塚ゆうすけ議員と高杉晋作の生家前にて。



城野団地などで先進的な取り組みをしているUR 都市再生機構北九州支店にて行政と民間の連携する団地再生の取組についてお話を伺ってまいりました。

緑が丘のイオンの隣の噴水広場にて、八千代青年会議所が主催したレトロ祭り。市内小学生が仕入や遊具の工作、発注などを体験。販売員としても大活躍!売り上げは八千代市に寄付して頂きました。

